田中しんのすけ NEWS

伊予市議会議員

VOL.1

2021.7発行

2021年6月市議会報告

初一般質問しました

1 認定こども園の設置について

後期基本計画では、目標の設置数を7としている。(現在は公立が1校、私立が4校)
残り2つは北山崎幼稚園と伊予幼稚園の2園を公立の認定こども園とするのか。

市民福祉部長

総合的に検討し、**適切な時期に２園を公設公営の認定こども園**として設置する方針である。

伊予市は、預かり事業について、保護者のリフレッシュのための預かりを認めているが、現在の幼稚園は、その預かりを認めていない。これは、認定こども園となれば、機能の拡充は期待できるか。

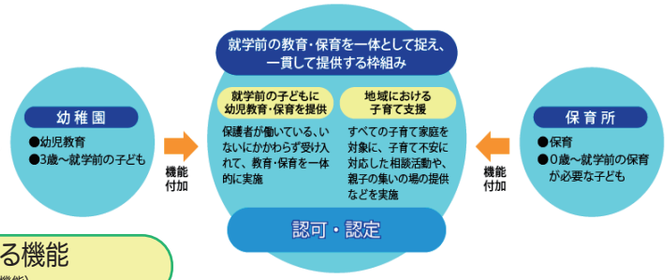
教育委員会事務局長

認定こども園になれば、幼稚園型の一時預かり事業として、15時以降の預かりも可能となり、機能拡充が期待できる。
なお、実施に際しては、保育認定の子どもとの整合性並びに一時的な保護を前提とした具体的な理由等により、利用日数に制限を設けるなどの措置が必要となる場合もある。

認定こども園とは？

幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設。以下の機能を備え、認定基準を満たす施設は、都道府県等から認定を受けることができる。

1. 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能
（保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能）
2. 地域における子育て支援を行う機能
（すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能）



認定こども園概要　内閣府ホームページを加工して作成
(https://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/gaiyou.html)

2 医療体制の充実を！

市長のビジョンの中に、
伊予市に必要な「総合病院」の建設はあるか？

市長

市議時代を含め、総合病院誘致に関する議論があった。総合病院が建設されれば、その効果は非常に高いと認識している。ただ、その実現は極めて難しい。

産婦人科と小児科については？
個人病院の誘致を図るための大幅減税などの優遇措置を検討できないか。

市長

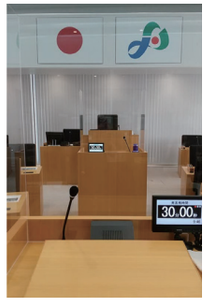
本市の子育て支援策において、産婦人科や小児科は、特に重要な役割を担う。ただ、国の施策によらず、市の独自施策として、特定の業種や個人を減税することは、税の公平性や市民感情の考慮が必要。補助制度の創設は、医療圏域における協力体制の維持を前提として、既存の医療機関の意向や実効性の問題、厳しい財政状況等を慎重に検討する必要がある。
医師不足や高齢化が進行している中、安心して本市に住み続けるうえで、安定的な医療サービスを享受できることは重要な要素。現在の松山医療圏域の関係市町、また、伊予医師会とも連携強化をもってしっかりと対応したい。

3 IYO夢みらい館の利用料等について

駐車場も広くて、市内の皆さんで集まって交流するには適しているが、利用料金が高くて使いづらいとの声を聞く。また、他施設では抽選は平等で、利用者が市民であれば利用料を割引きする形をとっているが、IYO夢みらい館では料金はみんな同じで、抽選を伊予市民が優遇される形となっている。料金を安くするほうが、伊予市民も利用しやすいのでは？

教育委員会事務局長

使用料については、市内施設及び県内類似施設の料金を鑑みて協議検討し、決定したものであり、各施設と比較としても大きな差異はない。使用料の見直し等については、開館して短期間であり、コロナ禍で正常な運用ではなかったので、減額など行わず、現行にて対応したい。
また、使用に関する抽せん等のルールについては、学識経験者、公共的団体の代表、公募による委員などから構成された伊予市図書館、文化ホール等管理運営検討委員会において、市民の皆様が優先的に使えるようにと提言いただき、実施している。使用料同様、いましばらく状況を注視していきたい。



しっかり聴く 何でも無料

しんのすけの市民相談会

with前伊予市議 **水田恒二**さん

ところ（マルナカ近く）　とき（受付は4時まで）

郡中地区公民館　8/22(日) 午後1時～5時まで

当日来られない方は、電話でも手紙でも結構ですから、ご相談ください
コロナ対策のため**事前予約制**
下記までご連絡ください

090-1324-6092
伊予市森甲609番地2